



(一)横浜港湾福利厚生協会
シンボルマーク
(昭和52年11月制定)
福利厚生(welfare)の頭
文字Wをデザインしました

厚生ニュース

はまかぜ

令和元年7月1日

第79号

一般社団法人 横浜港湾福利厚生協会

横浜市中区山下町277-1

☎045(681)6751

http://www.y-port-kousei.or.jp

発行責任者 鈴木 猛史

編集責任者 岩崎 広幸

印刷所 神奈川新聞社

〈本紙は再生紙を利用しています〉

平成31年度予算のあらまし (単位:万円)

| 科目 | 決算額 |
|-------------------------|---------|
| 事業活動収入 | |
| 会費収入 | 1,319 |
| 港湾福利分担金収入 | 24,000 |
| 施設整備助成金収入 | 10,700 |
| 事業収入 | 153,977 |
| 雑収入 | 2,033 |
| 事業活動収入計 | 192,029 |
| 事業活動支出 | |
| 事業費支出 | 167,340 |
| 管理費支出 | 6,353 |
| 事業活動支出計 | 173,693 |
| 事業活動収支差額 | 18,336 |
| 投資活動収入 | |
| 投資活動収入計 | |
| 投資活動支出 | |
| 固定資産取得支出 | 11,205 |
| 投資活動支出計 | 11,205 |
| 投資活動収支差額 | △11,205 |
| 固定資産関係 固定資産関係差引後収支差額 | 7,131 |
| 投資活動収支の部 | |
| 投資活動収入 | |
| 特定預金取崩収入 | |
| 投資活動収入計 | 0 |
| 投資活動支出 | |
| 受入保証金支出 | |
| 住宅整備等特定預金支出 | 6,800 |
| 投資活動支出計 | 6,800 |
| 投資活動収支差額 | △6,800 |
| 特定預金関係 特定預金関係差引後収支差額 | 331 |
| 予備費 | 300 |
| 当期収支差額 | 31 |
| 前期繰越収支差額 | 23,931 |
| 次期繰越収支差額 | 23,962 |

平成30年度決算のあらまし (単位:万円)

| 科目 | 決算額 |
|-------------------------|---------|
| 事業活動収入 | |
| 会費収入 | 1,319 |
| 港湾福利分担金収入 | 24,463 |
| 施設整備助成金収入 | 8,984 |
| 事業収入 | 151,316 |
| 雑収入 | 5,399 |
| 補償金収入 | 0 |
| 事業活動収入計 | 191,481 |
| 事業活動支出 | |
| 事業費支出 | 171,945 |
| 管理費支出 | 9,621 |
| 事業活動支出計 | 181,566 |
| 事業活動収支差額 | 9,915 |
| 投資活動収入 | |
| 投資活動収入計 | |
| 投資活動支出 | |
| 固定資産取得支出 | 8,314 |
| 投資活動支出計 | 8,314 |
| 投資活動収支差額 | △8,314 |
| 固定資産関係 固定資産関係差引後収支差額 | 1,601 |
| 投資活動収支の部 | |
| 投資活動収入 | |
| 特定預金取崩収入 | 0 |
| 保証金収入 | 99 |
| 保証金取崩収入 | 900 |
| 投資活動収入計 | 999 |
| 投資活動支出 | |
| 保証金支出 | 1,563 |
| 住宅整備等特定預金支出 | 1,000 |
| 投資活動支出計 | 2,563 |
| 投資活動収支差額 | △1,564 |
| 特定預金関係 特定預金関係差引後収支差額 | 37 |
| 予備費 | 0 |
| 当期収支差額 | 37 |
| 前期繰越収支差額 | 23,894 |
| 次期繰越収支差額 | 23,931 |



会長挨拶

令和元年六月十九日(水)、横浜港運会館大会議室において第六十四回通常総会を行いました。藤木会長の挨拶の後、来賓の方々から祝辞をいただき、議事の審議に入りました。

平成三十年度事業報告及び決算並びに公益目的支出計画実施報告、平成三十一年度事業計画及

六月十九日 横浜港運会館大会議室にて 第六十四回 通常総会 開催

び予算について原案どおり承認されました。

昨年度も横浜港で働く方々の福利厚生面での充実を図るため、各種事業を積極的に進めてまいりました。

主な取り組みにつきましては次のとおりです。

まず、コンビニエンスストア(ポトストア本牧・YICC)において、サークルKサンクスからファミリーマートにブランド転換をいたしました。なお、YICC店は建物内で移転し、売り場面積の拡張及び販売品目の拡充を図りました。

また、本牧ポトハイツ十三号棟の一部を洋室化し、利用者のニーズに応えるとともに、契約率向上を図りました。

本年度につきましても横浜港で働く方々のニーズに的確に対

応するよう従来に増して励み、より良いサービスの提供を図れるよう取り組んでまいります。

食堂・給食(弁当)・売店事業につきましても、大黒厚生センター内の波止場食堂つばさ店をリニューアルし、利用者の利便向上を図ります。

また、住宅事業につきましても、昨年度に引き続き本牧ポトハイツの小世帯用住宅の一部を洋室化し、利用者ニーズに添えてまいります。

なお、本年度は役員改選期であり、推薦団体の役員交代に伴い、次のとおり新たに八名



通常総会の様子

役員名簿 (敬称略)

| 役職 | 氏名 |
|-------------|---|
| 会長 | 藤木 幸夫 |
| 副会長 | 飯泉 牧太郎 藤木 幸太 小此木 歌藏 藤木 幸三 |
| 専務理事 | 鈴木 猛史 |
| 常務理事 | 岩崎 広幸 国井 重雄 |
| 常任理事(以下5名順) | 飯泉 勝也 石黒 明博 大須賀 由紀 黒澤 芳徳 笹田 照近 鈴江 孝裕 鈴木 誠一 東海 和男 中野 裕也 長谷川 元 原田 龍次郎 平木 基仁 藤木 幸吉 真砂 利文 柘田 建二郎 |
| 理事 | 河村 義秀 串田 素宏 酒井 英治 坂田 薫 佐藤 彰 多田 和也 徳里 則之 野村 宜彦 龍康殿 秀尊 渡邊 正 渡邊 直人 |
| 監事 | 浅野 正敏 田端 肇 永田 実 |

は、昨年度に引き続き本牧ポトハイツの小世帯用住宅の一部を洋室化し、利用者ニーズに添えてまいります。

また、住宅事業につきましても、昨年度に引き続き本牧ポトハイツの小世帯用住宅の一部を洋室化し、利用者ニーズに添えてまいります。

なお、本年度は役員改選期であり、推薦団体の役員交代に伴い、次のとおり新たに八名

は、昨年度に引き続き本牧ポトハイツの小世帯用住宅の一部を洋室化し、利用者ニーズに添えてまいります。

また、住宅事業につきましても、昨年度に引き続き本牧ポトハイツの小世帯用住宅の一部を洋室化し、利用者ニーズに添えてまいります。

なお、本年度は役員改選期であり、推薦団体の役員交代に伴い、次のとおり新たに八名



開放感のあるダイニングと新しくなったキッチンセット

この春から提供を開始した本牧ポトハイツ十三号棟の洋室をご案内いたします。

本牧ポトハイツ 小世帯用住宅洋室化のご案内

の役員を選任致しました。

〈副会長〉藤木幸三
〈常任理事〉大須賀由紀・中野裕也・平木基仁・真砂利文

〈理事〉河村義秀・野村宜彦・龍康殿秀尊
なお、承認されました決算、予算は上記のとおりです。



全面改装し明るくなった室内とシャワーブース

●●●主な住宅設備●●●

- 居室 全面フローリング化 (CFシート)
- 台所 キッチンセットをリニューアル
- 浴室 シャワーブース化

○その他に洗濯パンを室内に設置し、十分な収納(クローゼット)を完備

き、洋室化工事を継続して参りますので、どうぞ宜しくお願ひ申し上げます。

☎045(682)3735

開港一六〇周年 横浜港湾労働者供養祭

五月三十一日 象の鼻パークにて開催



主催者挨拶

令和元年五月三十一日(金)に「象の鼻パーク」内にある「横浜港湾労働者供養塔」前にて、当協会と横浜港運協会との共催で「開港一六〇周年横浜港湾労働者供養祭」を厳粛に執り行いました。

元々、横浜港湾労働者供養塔は昭和四十九年に神奈川県・横浜市・港湾業界・当協会によって、横浜港にて、ミナトでの仕事に生涯を捧げ、横浜港発展のため尽くされた方々の御霊を慰めるため、山下ふ頭に建立されていきました。山下ふ頭に供養塔があった際には、春頃に「横浜港湾労働者供養霊前祭」を執り行っておりました。その後、平成二十一年に、横浜港開港一五〇周年を記念して、横浜港発祥の地である象の鼻パークの現在の場所に、移設されました。そして、象の鼻パークに移設後の平成二十二年より、毎年開港記念日に合わせて、横浜みなと祭りの一環として「横浜港湾労働者供養祭」を執り行っております。

今年も開港一六〇周年という節目の年であることから、港湾関係者だけでなく、市民の方々にも広く参列していただくことと神奈川新聞やタウンニュース等で広報いたしました。

当日は、天候にも恵まれ、官公庁、港湾関係者やご遺族、また沢山の市民の方々にも参列していただき、横浜港で働く方々の功績を知っていただく良い機会となったと思います。

式典は、午前十一時より参列者全員による黙祷から始まり、藤木会長が挨拶を述べた後、感謝と敬意を込め、供養塔に花環を捧げました。続いて、官公庁、港湾関係者が献花をし、十二時より市民の方々が献花をしました。参列者は港湾関係者が約五〇〇人、市民が約一〇〇〇人の、あわせて約六〇〇人の人が次々と献花し、横浜港の発展に寄与された方々のご冥福をお祈りす



藤木会長による花輪の奉納



港湾関係者による献花

ると共に、これからの横浜港の発展と安全を祈念いたしました。

本牧港湾診療所

新先生の紹介

本牧港湾診療所の医師が、四月より本橋医師から内藤医師へ替わりました。それに伴い、本紙の「はまかせ診療所」も、内藤先生が担当していただきます。内藤先生は、循環器内科がご専門です。

本橋先生同様、港のみなさんの健康を見守ってください。

《本牧港湾診療所》

●診療時間

(平日) 九時～十三時、

十四時～十七時

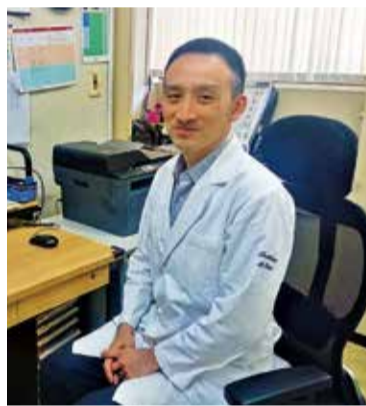
(土曜) 九時～十二時

●休診日

木曜・日曜・祝日

●電話番号

☎045(623)5031



内藤先生

はまかせ診療所

第70回
心房細動について

本牧港湾診療所
内藤 広太郎先生

皆様、初めまして、本年の四月より本牧港湾診療所で診察をしている内藤です。

今回は、世界トップの高齢化社会を迎えている日本では誰しもがなりうる「心房細動」という不整脈についてお伝えします。

正常な場合、心臓は規則的に脈を打つのですが、心房細動は不規則に脈を打つことが特徴です。要因としては「加齢」と「他の心臓病」が非常に強い影響力をもっていることが分かっています。統計では、六十歳を越えたあたりから急激に有病率が上がり、日本全国では百万人程度の方が心房細動であると推計されています。

心房細動の最大の問題は「脳梗塞」になりやすいことです。

半分近くの方は無症状であり、脳梗塞で倒れた際に持病であったと判明することもよくあります。先ほど述べた要因に比べると影響力は弱いのですが、その他に様々な生活習慣も影響があるとされています。以下に本年三月の日本循環器学会にて発表された、心房細動を予防するための理想的な生活習慣をお示しします。

- ①健康的な食生活(減塩、大豆製品/野菜/魚を多く摂取する、清涼飲料水を控える)、
- ②健康的な身体活動(三階以上がるときに階段を利用する割合が六割以上)、
- ③六時間以上の睡眠、
- ④タバコを吸わない、
- ⑤適正飲酒以下(男性:一合/日以

下、女性:半合/日以下)

以上の五項目で三項目を満たせば心房細動のリスクが三分の一に、四項目満たせば四分の一になるという研究結果でした。

「加齢」は避けられませんが、ライフスタイルを見直して心房細動/脳梗塞を予防して健康長寿を目指していただければと思います。心臓の病気で困りの際はぜひご相談ください。

シーパレスリゾート 新大浴場の紹介

ホテルシーパレスリゾートでは、四月に大浴場「アクアの湯BALEE」をオープンしました。

アクアの湯BALEEは、バリ島のインテリアに囲まれたナノウォーターの人工温泉で、美容・健康を意識したシーパレスリゾートならではの癒しの空間になっています。

施設内の家具や雑貨はバリ島から取り寄せており、風呂も脱衣所もバリ島の雰囲気溢れておりますので、ご利用される方は、日常を離れて、心と体のメンテナンスを図り、リラックスした時間を過ごすことができます。



快適なホール



ガーデン炭酸風呂

ることがあげられます。広々とした浴室には、ガーデン炭酸風呂・シルク風呂・弱電気風呂・ジェットバス・サウナ&水風呂の六種類の風呂があり、様々な風呂を楽しむことができます。また、風呂の湯は、最先端のナノテクノロジー技術による「ナノウォーター」が使用されています。ナノウォーターは、化粧水のような滑らかな肌触りで、保湿作用・浸透作用に優れており、保湿効果や美肌効果、髪が潤う等の効果があるのとことです。

アクアの湯BALEEの洗い場は、男女それぞれ二十六ヶ所も設けられています。シーパレスリゾートの方曰く「お客様の快適なご利用を追求しました。」とのことで、身障者用や親子用の洗い場も設けられています。快適さへの追及は浴室だけではなく脱衣室やホールにも行き届いています。身障者や高齢者にやさしいバリアフリーはもとより、小さなお子様向けのキッズルームや女性脱衣室のパウダールームなど、様々な方々の利用に配慮した設備が用意されています。

アクアの湯BALEEの写実は、ホームページやインスタグラムにアップされています。また、YouTubeでは動画を見ることができ、その上で、どんな風呂が気に入った方は「ホテルシーパレスリゾート」で検索して、是非ご覧ください。